

医療の声を力に。

秋田県議会議員

島田かおる

Kaoru Report vol.2

島田かおる 県政レポート

皆様 こんにちは！

秋田県議会議員(秋田市選挙区)の島田薫です。

令和3年9月の秋田県議会では、総務企画委員会にて「Aターン就職強化事業」や「税務総合システムの改修」等について討議し、本会議において新型コロナウイルス対策を柱とする補正予算案等の討議・採決を行いました。

また、10月18日からの決算特別委員会の委員に選ばれて質疑を行い、総括審査では「新型コロナウイルス感染症に対しては部局横断的に対策を進めるべきでは」と質しました。

日々変化する新型コロナウイルス感染症の状況に適切に対応し、県民の皆様の健康と命をしっかりと守るために働きますので、よろしくお願いします。



決算特別委員会

「令和2年度秋田県歳入歳出決算の認定に関する議案」等について質しました。

この度決算特別委員会の委員に選ばれ(各委員会から1名ずつ+委員長、県議43名中11名)、10月18日から「令和2年度秋田県歳入歳出決算の認定に関する議案」等について質疑を行いました。

出納局関係の審査では、「災害に強い庁舎の整備」について、「耐震性の確保も大事だが、大災害時の停電に備えた電源の確保も重要である。今後、庁舎などの県有施設に太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入を推し進め、平時の省エネ・脱炭素と非常時の電源確保を同時に整備していく考えはないか。」とたどしたのに対し、「国や県における脱炭素に向けた取組目標などを見定め、庁舎管理者として率先して取り組んでまいりたい。」との答弁を得ました。

総括審査

11月2日の決算特別委員会の総括審査では、「昨年、外国人を含む県外の労働者が来るような大規模建設現場に新型コロナウイルス感染症対策の説明に同行しましょうと秋田県医師会が産業労働部に提案したにもかかわらず、通知やマニュアルが届いているとして洋上風力等の担当である産業労働部からもダム等の担当である建設部からも建設現場への説明が行われず、結果として洋上風力発電の建設現場などにおいてクラスターが発生した。過去に経験が無い有事においては、産業労働部・建設部・健康福祉部などが部局横断的に協力して外部とも連携しながら対策を進めるべきと考えるがいかがか。」と質したのに対し、知事から「連携して進める」との答弁を得ました。



議員連盟としての活動等

秋田県林活議員の会と県内25市町村の林活議員連盟で組織する「秋田県森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡協議会」の総会が12月12日秋田市で開催され、出席しました。

10月に赴任した東北森林管理局の宮澤俊輔局長による「新たな森林・林業基本計画と森林・林業を巡る情勢」とのテーマでの講演がありました。2050年カーボンニュートラルの実現のため「刈って、使って、植える」という資源の循環利用を着実に進めることが重要と考えます。

秋田県農業共済組合(NOSAI秋田)と秋田県NOSAI振興議員連盟による「NOSAI振興議員懇話会」が12月2日秋田市で開催され、出席しました。「備えあれば憂いなし」の農業生産体制の構築に向け、農業保険(収入保険並びに農業共済)の普及が必要です。



秋田県議会議員によるSDGs(持続可能な開発目標)についての勉強会が12月20日秋田市で開催され、出席しました。みずほ銀行秋田支店の中村壮支店長による「SDGsと企業経営」というテーマの講演があり「SDGsを自社の成長戦略として推進していく企業が今後伸びていく」「秋田は風や水といった資源、人材に強みがあり、これから『秋田の時代』が来る」とのお話でした。「秋田には風力、地熱、太陽光などの自然エネルギーが豊富にあり、もっとアピールすべきでは」と私が質問し、「その通りで、脱炭素宣言をしても良いと思う」とのお答えでした。

秋田県のホームページ「美の国あきたネット」の秋田県ブックリーダーによる「私の一冊」【県議会議員編】に、私の選んだ本「医学するところ」が掲載されましたのでご覧ください。



書籍名 医学するところ
著者名 日野原重明
出版社名 岩波書店

「私の一冊」

平成24年に能代市で開かれた日野原先生の百歳記念講演会に行きました。100歳の先生は現役医師として回診するなど医療に携われ、平成7年の地下鉄サリン事件の際には聖路加国際病院の院長として多くの患者さんを受け入れて陣頭指揮を執られました。講演では「命も時間もお金も、何のために使うかが大事」「世の中の役に立つことに使ってほしい」と話されました。

この本は先生が書いた近代医学の開拓者オスラーの伝記で、臨床と研究に基づいた科学とその根底の人間愛が大切であることを感じます。

読書について

読書時間の確保で工夫していること

読んだところに小さな付箋を貼っておいて、少しの空き時間に少しでも続きを読んで、そこに付箋を貼り直しています。

読書の効用として感じていること

素晴らしい考え方や生き方を知ることです。

秋田県ブックリーダーとしてのメッセージ

どんなジャンルでもタイトルでも、自分が興味を持った本を読むことが良いと思います。

<https://shimadakaoru.jp>

島田かおる事務所

〒010-0874 秋田市千秋久保田町6-6
(秋田県総合保健センター4階) 秋田県医師連盟
TEL 018-833-7401 FAX 018-832-1356



島田 薫の プロフィール

昭和31年生まれ
秋田大学医学部卒

医師会活動

- 秋田県医師会常任理事
- 能代市山本郡医師会理事
(感染症対策委員会委員長)
- 日本医師会地域包括ケア推進委員会委員
- 森岳温泉病院理事長
- 特養もりたけ理事長

地域活動等(抜粋)

- 山本中学校、藤里小学校学校医
- 三種町地域福祉計画、
地域福祉活動策定委員会委員
- 藤里町教育支援委員
- 秋田県山本地域医療福祉協議会専門委員
- 秋田大学医学部非常勤講師
- 地域医療構想アドバイザー
- 秋田県ナースセンター事業運営委員会委員
- 秋田県循環器病対策推進協議会委員
- 秋田県新型コロナウイルス感染症
対策協議会委員